令和5年度厚生労働科学研究費補助金

政策科学総合研究事業(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業)

歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究

平成5年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 長島 正

平成6 (2024) 年 5月

令和5年度厚生労働科学研究費補助金研究報告書目次

目 次

| Ι. | 総括研究報告 | |
|-----|---|-----|
| | 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの | |
| | 開発に関する研究 | 1 |
| | 長島正 | |
| | | |
| II. | 分担研究報告 | |
| | 1. 臨床実習と臨床研修で使用できる共通評価項目の策定に関する研究 | - 4 |
| | 長島 正、田口則宏、長澤敏行、新田 浩、大澤銀子、和田尚久 | |
| | (資料1) 臨床実習と臨床研修の共通評価項目 | |
| | (資料2) C領域の到達目標と共通評価項目の紐付け | |
| | | |
| | 2. 評価システムの改修 | - 8 |
| | 長島 正、田口則宏、木内貴弘、秋葉奈美、野崎剛徳 | |
| | | |
| TTT | 研究成果の刊行に関する一覧表 | 10 |

厚生労働科学研究費 補助金研究報告書

令和 6 年 5 月 31 日

厚生労働大臣

(国立医薬品食品衛生研究所長)

(国立保健医療科学院長)

(研究代表者)

殿

| 研究者の住所 | 〒631-0805 奈良市右京三丁目 7-14 |
|--------|-------------------------|
| 所属機関名 | 国立大学法人大阪大学 |
| 部署・職名 | 歯学部附属歯学教育開発センター・教授 |
| 氏名 | 長島 正 |

交付決定日及び文書番号:令和5年5月25日 厚生労働省発科0525第11号

補助事業名 : 令和 5 年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(臨床研究等 ICT

基盤構築・人工知能実装研究事業))

研究課題名 (課題番号): 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価シ

ステムの開発に関する研究(22AC1001)

研究実施期間 : 令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日まで

2 年計画の 2 年目

国庫補助金精算所要額 :金 9,943,000 円也(※当該研究課題に係る総額を記載すること)

(うち間接経費 3,383,000円)

上記補助事業について、厚生労働科学研究費補助金等取扱規程(平成10年4月9日厚生省告示第130号)第16条第2項の規定に基づき下記のとおり研究成果を報告します。

記

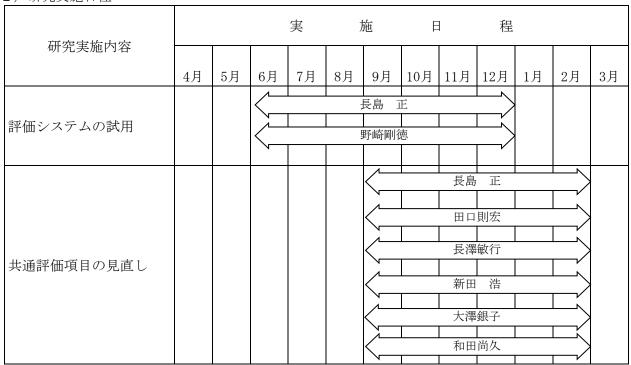
1. 研究概要の説明

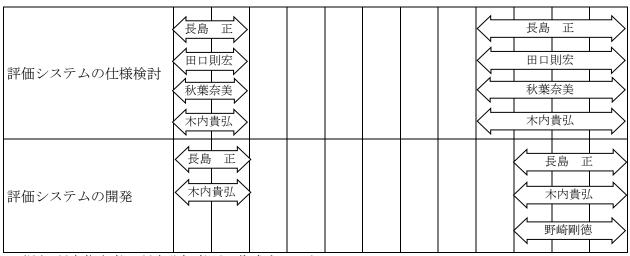
(1) 研究者別の概要

| 所属機関・部 署・職名 | 氏名 | | 分担した研究項目 及び研究成果の概要 | 研究実施期間 | 直接経費の 実支出額 (円) | 間接経費 (円) |
|------------------------------|------|--|----------------------------------|---|----------------------|-------------|
| 大阪大学・ 歯学部・教 授 | 長島 正 | | 研究の総括を担当 | 令和5年4月 1日~令和6 年3月31日 | 1, 260, 171 | 3, 383, 000 |
| 鹿児島大 学・医歯学 域歯学系・ 教授 | 田口則宏 | | 共通評価項目の見直し および評価システムの 仕様検討 | 令和5年4月 1日~令和5 年6月30 日、令和5年 9月1日~令 和6年3月31 日 | 200, 000 | 0 |

| 北海道医療 大学・歯学 部・教授 | 長澤 敏行 | 共通評価項目の見直し | 令和5年9月 1日~令和6 年2月28日 | 100, 000 | 0 |
|-------------------------------------|-------|-----------------|--|-------------|---|
| 東京医科歯科大 学・大学院医歯 学総合研究科・ 教授 | 新田 浩 | 共通評価項目の見直し | 令和5年9月 1日~令和5 年12月28日 | 100, 000 | 0 |
| 日本歯科大 学・生命歯 学部・准教 授 | 大澤 銀子 | 共通評価項目の見直し | 令和5年9月 1日~令和5 年12月28日 | 100, 000 | 0 |
| 新潟大学・ 医歯学総合 病院・助教 | 秋葉 奈美 | 評価システムの仕様検 討 | 令和5年4月 1日~令和5 年6月30 日、令和5年 12月1日~令 和6年3月31 日 | 100, 000 | 0 |
| 九州大学・ 歯学研究 院・教授 | 和田 尚久 | 共通評価項目の見直し | 令和5年9月 1日~令和5 年12月28日 | 100, 000 | 0 |
| 東京大学・ 医学部附属 病院・教授 | 木内 貴弘 | 評価システムの開発 | 令和5年4月 1日~令和5 年6月30 日、令和5年 12月1日~令 和6年3月31 日 | 4, 500, 000 | 0 |
| 大阪大学・ 歯学部附属 病院・准教 授 | 野﨑 剛徳 | 評価システムの試用 | 令和5年6月 1日~令和6 年3月31日 | 100, 000 | 0 |

(2) 研究実施日程





(注)研究代表者、研究分担者別に作成すること

(3). 研究成果の説明

研究の目的:

本研究の初年度において、臨床実習と臨床研修において共通で使用できる評価項目を策定するとともに、この評価項目を登載した、新しいオンライン臨床研修評価システムを開発した。今年度は、開発された評価システムを実際の臨床研修にて試用し、その機能および操作性を改善し、歯科医師臨床研修における標準的な評価システムとして使用できるようにすることを目的として実施した。

研究結果の概要:

前年度に開発したオンライン評価システムを、令和 5 年度に実施されている臨床研修の現場にて試用し、研修歯科医、指導歯科医から使用した感想および改善点などを聴取した。それに基づいて、評価項目の見直し、システムの改善などを行い、臨床実習から臨床研修に一貫して活用できるオンライン評価システムを完成させた。

研究の実施経過:

まず、新しい評価システムの1つのコンポーネントである学習履歴管理システムにて収集された各研修歯科医の経験症例数を、臨床研修評価システムに集計・表示する機能を開発した。その後、令和5年6月から12月の7か月間、大阪大学歯学部附属病院にて実施されている歯科医師臨床研修にて本システムを試用し、研修歯科医および指導歯科医に聞き取り調査を行うことで要改善事項を抽出した。抽出された事項にしたがって、①前年度策定した153項目からなる共通評価項目を見直して175項目に整理、②学習履歴管理システムと臨床研修評価システムの連携がさらに緊密かつ確実に行われるよう機能追加、の各項目について作業を行った。

評価項目の見直しについては、本システムを利用した研修歯科医から「一連の治療操作を同日に実施した際に、同じ入力操作を何度も繰り返さねばならなく、操作が煩雑に感じる」との意見に対応するため、新しく項目を追加することで対応することとした。一方、本評価システムでは臨床研修評価システムが研修歯科医および指導歯科医のIDおよびパスワードなどを管理しているが、複合型研修にて研修歯科医の所属施設が変更となった場合にも問題なくデータが管理できるようマスタファイルの参照手順などを見直した。

本システムを利用した指導歯科医からその有用性の高さが報告されている事から、今後、歯科医師臨床研修の標準的な評価システムとしての地位を確立できる可能性が高いと思われる。

研究成果の刊行に関する一覧表:現状では該当なし

研究成果による知的財産権の出願・取得状況:該当なし

研究により得られた成果の今後の活用・提供:

本研究にて開発されたオンライン臨床研修評価システムは、UMIN センターが窓口となって利

令和5年度厚生労働科学研究費補助金 (政策科学総合研究事業(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業))

分担研究報告書

臨床実習と臨床研修で使用できる共通評価項目の見直しに関する研究

研究代表者 長島 正 (大阪大学教授) 研究分担者 田口則宏 (鹿児島大学教授) 長澤敏行 (北海道医療大学教授) 新田 浩 (東京医科歯科大学教授) 大澤銀子 (日本歯科大学准教授)

和田尚久(九州大学教授)

研究要旨

臨床実習から臨床研修へ一貫して利用できるオンライン評価システムにて使用するために前年度に策定した共通の学習項目ついて、開発されたオンラインシステムを臨床研修で運用した結果を踏まえ、研修歯科医の入力効率向上と指導歯科医による適切な評価実施を目的として見直し作業を実施した。その結果、175項目からなる共通評価項目が策定されるとともに、それらの項目と臨床研修の到達目標のうちC領域の各項目との関連付けが示された。

A. 研究目的

令和3年3月に実施された歯科医師臨床研修制度 見直しに伴い改訂された新しい到達目標に対応した 新オンライン評価システム開発にあわせ、昨年度の 本研究にて臨床実習と臨床研修で使用できる153項 目からなる共通評価項目(以下、共通評価項目)を策 定した。策定された評価項目を、昨年度の本研究にて 開発されたオンライン臨床研修評価システム(以下、 評価システム)に搭載し、令和5年度に実施された大 阪大学歯学部附属病院での臨床研修において試用し たところ、研修歯科医、指導歯科医の双方から種々の レポートが提出され、その中には評価項目の見直し を要望するものも散見された。

そこで本研究は、昨年度策定された共通評価項目を見直すことによって、開発されたオンライン臨床研修評価システムの操作姓を改善させ、さらに指導歯科医が研修歯科医の適切な評価を行いやすくすることを目的として実施した。

B. 研究方法

本研究には、昨年度本研究にて策定された共通評価項目と、同じく本研究にて開発された評価システムを用いた。まず、共通評価項目を評価システムに登載し、正しく動作することを確認した上で、令和5年

度に大阪大学にて実施された臨床研修にて試用した。 令和5年7月から12月までの6か月間の試用のの ち、研修歯科医、指導歯科医からシステム操作性に関 する聞き取り調査を実施し、その中から共通評価項 目に関する事項を抽出した。抽出された情報に加え、 次年度から本評価システムの導入を希望する臨床研 修施設の指導歯科医から共通評価項目に対する要望 を聴取し、これらの情報を分析することで、改訂され た共通評価項目を作成した。さらに、作成さされた評 価項目と臨床研修の到達目標のうちC領域の各項目 と関連性を検討し、両者の紐付けルールを作成した。

(倫理面への配慮)

本研究実施にあたっては、特に研修歯科医および 指導歯科医への聞き取り実態調査において、各個人 に関わる情報あるいは各大学に関わる情報について は一切取り扱わないよう徹底することで、倫理面に 対して万全の配慮を行った。

C. 研究結果

今年度本システムを試用した研修歯科医および指導歯科医、および次年度に本評価システム導入予定施設の指導歯科医から聴取した内容を検討した結果、従来の153項目に新たな項目を加え、175項目からな

る共通評価項目を作成した(別添資料1)。これら17 5項目を策定するにあたり、前年度同様、項目間の粒度の差が可能な限り小さくなるよう努めたが、様々な条件下にある多くの施設にて利用可能であることを優先させた結果、それらの差を埋めることは非常に困難であった。さらに、研修歯科医から要望の高かった評価入力にかかる労力を軽減できる方策として、一連の項目を一括して登録できるよう、項目の追加を図った。

さらに、これらの学習項目と歯科医師臨床研修の研修目標のC領域との関連付けを検討した。その結果、別添資料2に示すとおり各々の研修目標に対して1~26個の学習項目が関連付けられた。

D. 考察

今回の共通評価項目見直しにあたっては、本項目 に従って評価を登録する研修歯科医の声を参考とし、 入力にかかる労力の軽減を図った。昨年策定した共 通評価項目は、様々な研修実態に対応できることを 意識して比較的細切れに項目を設定していた。例え ばコンポジットレジン修復(単純)では、診断、治療 法選択、形成、充填、研磨の5項目から構成されてい る。このように設定することで診断のみ自験した場 合でも登録でき、より詳細な実態把握が可能となる が、ある程度経験を重ね、一連の操作を一度に実施し た場合、多くの項目を入力せねばならず、入力が煩わ しく感じるとの声が聞かれた。そこで、あらたに「コ ンポジットレジン修復(単純)(一連)」という項目 を設定し、同日に一連の治療を行った場合の入力操 作を簡便にした。このように対応することの欠点と しては、前年度の共通項目策定時にも課題となった、 各項目の粒度がさらに複雑となることが考えられる。 しかし、現状では学習者の経験した症例数から研修 修了に必要な症例数を自動的に計算できるシステム の構築は予定されていないことから粒度の違いは大 きな問題とはなりにくく、実際に本システムを操作 する研修歯科医の声に耳を傾けた対応として、今回 の対応は望ましいものであると考える。

E. 結論

昨年度策定した、共通評価項目にて評価システム を運用し、研修歯科医および指導歯科医の声を参考 として検討し、新たに175項目からなる共通評価項目 を設定した。

F. 健康危険情報 該当なし

G. 研究発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 なし

(資料1) 臨床実習と臨床研修の共通評価項目

| | 連携用ID 1 | 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|--|--|--|---|---|
| 1101 | 1 | 医療面接 | 医療面接 | 病歴聴取 |
| 1102 | 2 | ļ | | 問題点抽出 |
| 1103 | 3 | | | 診療録記載 |
| 1104 | 4 | | | 診断結果説明 |
| 1105 | 185 | | | 治療計画立案 |
| 1106 | 5 | | | 治療方針説明 |
| 2101 | 6 | 診察の基本 | バイタルサイン | 血圧測定 |
| 2102 | 7 | | | 脈拍測定 |
| 2103 | 242 | | | バイタルサイン(1口腔単位) |
| 2201 | 8 | | 頭頚部の診察 | 顔貌の観察 |
| 2202 | 9 | | | 顎関節の観察 |
| 2203 | 10 | | | 筋の診察 |
| 2204 | 11 | | | リンパ節の診察 |
| 2205 | 243 | | | 頭頚部の診察(1口腔単位) |
| 2301 | 12 | | 口唇・口腔内の診察 | 口唇の診察 |
| 2302 | 13 | | | 口腔内診察 |
| 2303 | 15 | | | 概形印象 |
| 2304 | 16 | | | 研究模型の作製 |
| 2305 | 244 | | | 口唇・口腔内の診察(1口腔単位) |
| 2401 | 186 | | 医療安全・感染予防 | 医療安全 |
| 2402 | 187 | | | 感染予防 |
| 2501 | 188 | 1 | チーム医療 | 歯科衛生士との協働 |
| 2501 | 189 | | , 共區原 | 歯科技工指示書 |
| 2502 | 189 | - | | |
| | | | | 処方箋作成 医療連携 |
| 2504 | 191 | | 11 0 2 11 | 医療連携 |
| 2601 | 192 | <u> </u> | リハビリ | 口腔機能訓練 |
| 2602 | 245 | | /TI DA ZA AN | リハピリ(一連) |
| 2701 | 193 | | 保険診療 | レセプト作成 |
| 3101 | | 画像検査 | デンタル撮影法 | 部位選択 |
| 3102 | 20 | | | 撮影法選択 |
| 3103 | 21 | | | 撮影枚数選択 |
| 3104 | 22 | | | 必要性説明 |
| 3105 | 23 | | | 放射線防護 |
| 3106 | 24 | | | 撮影 |
| 3107 | 26 | | | 読影 |
| 3108 | 27 | | | 結果説明 |
| 3109 | 246 | | | デンタル撮影(1口腔単位) |
| 3201 | 194 | | パノラマエックス線撮影法 | 必要性説明 |
| 3202 | 195 | | | 放射線防護 |
| 3203 | 196 | | | 撮影 |
| 3204 | 197 | | | 読影 |
| 3205 | 198 | | | 結果説明 |
| 3206 | 247 | | | パノラマX線撮影(1口腔単位) |
| 3301 | 199 | | CBCT.MDCT | 必要性説明 |
| 3302 | 200 | | | 読影 |
| 3303 | 201 | | | 結果説明 |
| 3304 | 248 | | | CBCT,MDCT(1口腔単位) |
| 4101 | 227 | その他検査 | 歯内療法 | 歯髄電気診 |
| 4102 | 228 | 20.000 | | その他歯髄検査 |
| 4103 | 82 | | | EMR |
| 4104 | 249 | | | 歯内療法(1口腔単位) |
| | | | 歯周治療 | 歯周組織検査 |
| 4201 | | | | |
| 4201 4301 | 89 | | 補綴系検査 | 咬合检查 |
| 4301 | 89 229 | | 補綴系検査 | 咬合検査 類運動関連検査 |
| 4301 4302 | 89 229 230 | | 補綴糸検査 | 領運動関連検査 |
| 4301 4302 4303 | 89 229 230 231 | | 補綴糸検査 | 領運動関連検査 咀嚼能力検査 |
| 4301 4302 4303 4304 | 229 230 231 232 | | 補綴糸検査 | 領運動関連検査 咀嚼能力検査 口腔機能低下症の検査 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 | 89 229 230 231 232 250 | 1454 4-20 (AT 1988) | | 領運動関連検査 咀嚼能力検査 口腔機能低下症の検査 補綴系検査(1口腔単位) |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 | 89 229 230 231 232 250 31 | 地域医療 | 植級糸検査 地域医療 | 頭運動関連検査 咀嚼能力検査 口腔機能低下症の検査 補綴系検査(1口腔単位) 地域医療 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 | 89 229 230 231 232 250 31 202 | 地域医療 | | 頭運動関連検査 咀嚼能力検査 口腔機能低下症の検査 補綴系検査(1口腔単位) 地域医療 多職種連携 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 | 地域医療 | | 張運動関連検査 旧零能力検査 口腔機能低下症の検査 補緩系検査(1口腔単位) 地域底療 多職種連携 周術期口腔管理 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 | 地域医療 | | 張運動問連検査 咀嚼能力検査 口腔機能低下症の検査 補線系検査(1口腔単位) 地域医療 多職種連携 周術期口腔管理 歯科検診 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 | | 地域医療 | 張運動問連検査 咀嚼能力検査 口腔解能低下症の検査 補綴天検査(1口腔単位) 地域医療 多職種連携 周術期口腔管理 歯科検診 爠島診療 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 6101 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 35 | | | 張運動問連検査 田解能が検査 日期能が検査 「正確性が使性を定する。 ・ 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 6101 6102 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 35 | | 地域医療 | 預運動間連検査 阻解能力検査 口腔機能低下症の検査 補關系検査(1口腔単位) 地域底膜 多職種連携 周術脚口腔管理 曲科検診 難島診療 清潔操作 器材準備 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 6101 6102 6103 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 35 36 | | 地域医療 | 張運動問連検査 田解能が検査 日期能が検査 「正確性が使性を定する。 ・ 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 6101 6102 6103 6104 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 35 36 37 | | 地域医療 | 張運動関連検査 田朝能力検査 日期能力検査 日接機能低下症の検査 補展系検査(1口腔単位) 地域度療 多職種連携 周術期口腔管理 進科検診 建島診療 清潔操作 滅菌手袋装着 術野消毒 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 6101 6102 6103 6104 6105 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 35 36 37 38 | | 地域医療 | 張運動問連検査 田解能が検査 一腔機能能下症の検査 補解を整査(口腔単位) 地域医療 多酸速速携 周修閉口腔管理 維料検診 整路療 清潔操作 器材生傷 混衝手損毒 局所麻酔 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 6101 6102 6103 6104 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 36 37 38 204 | | 地域医療 | 張運動関連検査 田朝能力検査 日期能力検査 日接機能低下症の検査 補展系検査(1口腔単位) 地域度療 多職種連携 周術期口腔管理 進科検診 建島診療 清潔操作 滅菌手袋装着 術野消毒 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 6101 6102 6103 6104 6105 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 35 36 37 38 | | 地域医療 | 張運動問連検査 田解能が検査 一腔機能能下症の検査 補解を整査(口腔単位) 地域医療 多酸速速携 周修閉口腔管理 維料検診 整路療 清潔操作 器材生傷 混衝手損毒 局所麻酔 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 6101 6102 6103 6104 6105 6106 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 36 37 38 204 | | 地域医療 | 張運動問連検査 田爾能力検査 一腔機能低下症の検査 補關系検査(1口腔単位) 地域医療 多職種連携 周病期口腔管理 曲科検診 難鳴影響 清潔操作 器材準備 滅馬手袋装着 精野消毒 局所廃酔 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 6101 6102 6103 6104 6105 6106 6107 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 35 36 37 38 204 41 252 | | 地域医療 単純技歯 | 預運動問連検査 阻解能力検査 口腔機能低下症の検査 補關系検査(1口腔単位) 地域底療 多職種連携 周修期口腔管理 直科核診 離島診療 清潔操作 器材準備 減虧子接接着 術野消毒 局所麻酔 単純技膚 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 6101 6102 6103 6104 6105 6106 6107 6201 | 89 229 230 231 232 250 202 203 233 251 35 36 37 38 204 41 252 205 | | 地域医療 単純技歯 | 預運動問連検査 田爾能力検査 一肢機能低下症の検査 補緩系検査(1口腔単位) 地域医療 多職種連携 周術期口腔管理 歯科检診 灌島診療 清潔操作 器材準備 減萬手袋装着 術野消毒 周所麻酔 単純披歯 単純披歯 単純披歯 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 6101 6102 6103 6104 6105 6106 6107 6201 6202 6203 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 35 36 37 38 204 411 252 205 | | 地域医療 単純技歯 | 張運動問連検査 田解能力検査 一時機能低下症の検査 一種機能低下症の検査 - 地域医療 多職種連携 周将胸口腔管理 - 機動診療 - 清潔操作 - 器材準備 - 滅菌手袋装着 - 湖南连線 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 6102 6103 6104 6105 6106 6107 6201 6202 6203 6204 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 35 36 37 38 204 41 252 205 206 207 208 | | 地域医療 単純技歯 | 張運動問連検査 田爾能力検査 一腔機能低下症の検査 補關系検査(1口腔単位) 地域医療 多職種連携 周绵期口腔管理 曲科検診 難動診療 清潔操作 器材準備 減順手袋装着 消野消毒 一手続致曲 単純技曲 減極(-連) 清潔操作 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 5105 6101 6102 6103 6104 6105 6106 6107 6201 6202 6202 6203 6204 6205 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 35 36 37 38 204 41 252 205 206 208 209 | | 地域医療 単純技歯 | 預運動問連検査 田剛能力検査 田剛能力検査 一腔機能低下症の検査 補緩系検査(1口腔単位) 地域疾療 多職種連携 周術期口腔管理 直科検診 離島診療 清潔操作 器材準備 減磨子袋装着 病野消毒 局所麻酔 単純抜曲 単純抜曲 単純抜曲 「連り 清潔操作 器材等領裁 部野消毒 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 6102 6103 6104 6105 6106 6107 6201 6202 6203 6204 6205 6206 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 3233 251 35 36 37 38 204 41 252 205 206 207 208 209 210 | | 地域医療 単純技歯 | 聚運動問連検査 田爾能力検査 一路機能低下症の検査 補陽系検査(口腔単位) 地域医療 多職健連携 周術即口腔管理 自身検診 離島診療 清潔操作 器材手接 場所係幹 単純故園(一連) 清潔操作 器材準備 減順手袋装着 術野消毒 局所係幹 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 6105 6101 6102 6103 6104 6106 6201 6202 6203 6204 6205 6206 6207 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 323 251 35 36 204 41 252 205 206 207 208 209 210 253 | | 地域医療 単純抜歯 | 聚運動問連検査 田解能が検査 一時機能能下症の検査 一時機能能下症の検査 - 神経療養 (1口腔単位) 地域医療 多職建連携 周術閉口腔管理 - 連科検診 - 建料性偏 - 選邦作 (2) - 海球操作 - 海球操作 - 海球操作 - 海球排作 - 海球排化 - 海球排化 - 海球排化 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 6101 6102 6106 6107 6202 6203 6204 6206 6207 6301 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 35 36 36 37 37 38 204 41 252 205 206 207 208 209 209 211 | 口腔外科 | 地域医療 単純抜歯 口唇・口腔内小手術 | 張運動問連検査 田爾能力検査 口腔機能低下症の検査 基督を養(1口腔単位) 地域医療 多職種連携 周绵期口腔管理 曲科検診 養動診療 清潔操作 器材準備 滅菌手炎装着 局所麻酔 単純抜曲 滅菌手炎装着 減野消毒 風質・養養・養養・養養・養養・養養・養養・養養・養養・養養・養養・養養・養養・養養 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 6101 6102 6103 6106 6107 6201 6202 6203 6204 6205 6206 6207 6301 7101 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 233 251 35 36 37 38 204 41 252 205 206 209 210 253 211 | | 地域医療 単純技歯 口唇・口腔内小手術 入院症例 う触処置 | 張運動剛連検査 田爾能力検査 口腔機能化下症の検査 補關系検査(1口腔単位) 地域反接 多職種連携 周绵期口腔管理 曲科検診 整動診療 清潔操作 器材準備 滅順手沒裝着 排野消毒 局所所幹 単純抜曲 単純抜曲 単純抜曲 「連結技曲(一連) 「清潔操作 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 6101 6101 6102 6103 6104 6105 6201 6202 6203 6204 6206 6206 6206 6207 7101 7101 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 323 251 35 36 37 38 204 41 252 205 206 207 208 209 210 253 211 234 45 | 口腔外科 | 地域医療 単純抜歯 口唇・口腔内小手術 | 預運動間連検査 阻解能力検査 口腔機能化下症の検査 補關系検査(1口腔単位) 地域疾療 多職種連携 周排用口腔管理 直科検診 離島診療 清潔操作 器材準備 減虧主袋装着 術野消毒 局所麻酔 単純技歯(一連) 清潔操作 器材準備 減虧手袋装着 術野消毒 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 6105 6106 6106 6107 6201 6202 6203 6204 6207 6301 7101 7102 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 323 251 35 36 37 38 204 41 252 205 206 207 208 209 210 253 211 234 45 | 口腔外科 | 地域医療 単純技歯 口唇・口腔内小手術 入院症例 う触処置 | 聚運動問連検査 田爾能力検査 一時機能能下症の検査 - 一時機能能下症の検査 - 一時機能能下症の検査 - 神域医療 多職建連携 周術期口腔管理 - 國科技術 - 國科技 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5106 6101 6102 6105 6106 6107 6202 6203 6204 6205 6207 6301 7101 7102 7103 7104 | 89 229 230 231 231 232 250 31 202 203 233 251 36 37 38 204 41 252 205 206 209 210 227 208 209 211 234 45 | 口腔外科 | 地域医療 単純技歯 口唇・口腔内小手術 入院症例 う触処置 | 張運動問連検査 田明能力検査 口腔機能低下症の検査 基礎を養在口腔単位) 地域医療 多職種連排 周術期口腔管理 基態を 清潔操作 整材準備 滅菌手袋萎着 局所麻酔 単純抜曲 基核直(-連) 清潔技術 滅菌手袋萎着 病野消毒 同所麻酔 以液菌手袋萎着 病野消毒 同所麻酔 以液菌手袋萎着 病野消毒 一手 |
| 4301 4302 4303 4304 4305 5101 5102 5103 5104 6105 6106 6106 6107 6201 6202 6203 6204 6207 6301 7101 7102 | 89 229 230 231 232 250 31 202 203 323 251 35 36 37 38 204 41 252 205 206 207 208 209 210 253 211 234 45 | 口腔外科 | 地域医療 単純技歯 口唇・口腔内小手術 入院症例 う触処置 | 聚運動問連検査 田爾能力検査 一定機能低下症の検査 補露を整合1口腔単位) 地域医療 多職建連携 周術期口腔管理 維科検診 羅斯珍療 清潔操作 器材生備 器材生備 器材生備 理解技術 一定 器材生備 或菌手段装着 用所麻酔 単純技由 一連 計畫接條 器材生備 或菌手段装着 用所麻酔 小所麻酔 一時一定 一時一一連 一時一時一連 一時一一連 一時一一連 一時一一連 一時一一連 一時一一連 一時一一連 一時一一連 一時一一連 一時一一連 一時 |

| * | 背景が黄色のセルは、 | 追加・修止の | めった項目を示す |
|-------|----------------------|--------|-------------------|
| , • · | 11/4/10 / 1 - 1 14/1 | | */ - / - / () / / |

| 整列用ID | 連携用ID | 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|--|--|--------------------|---|--|
| 7201 | 51 | | コンポジットレジン修復(複雑) | 診断 |
| 7202 | 53 | | | 治療法選択 |
| 7202 | 54 | | | 形成 |
| | | | | |
| 7204 | 55 | | | 隔壁 |
| 7205 | 56 | | | 充填 |
| 7206 | 57 | | | 研磨 |
| 7207 | 255 | | | コンポジットレジン修復(複雑)(一連) |
| 7301 | 59 | | インレー修復 | 診断 |
| | | | 1// 1// 1// 1// 1// 1// 1// 1// 1// 1// | |
| 7302 | 60 | | | 治療法選択 |
| 7303 | 61 | | | 形成 |
| 7304 | 62 | | | 印象採得 |
| 7305 | 63 | | | 咬合採得 |
| 7306 | 64 | | | 仮封 |
| | | | | |
| 7307 | 65 | | | 試適 |
| 7308 | 66 | | | 調整 |
| 7309 | 67 | | | 装着 |
| 7310 | 256 | | | インレー修復(一連) |
| 7401 | 69 | | 象牙質知覚過敏処置 | 象牙質知覚過敏処置 |
| 7402 | 70 | | 歯の漂白・変色歯の処置 | 歯の漂白・変色歯の処置 |
| | | ale ale administra | | |
| 7501 | 71 | 歯内療法 | 覆髄, 断髄等 | 覆髓法 |
| 7501 | 72 | | | 断髓法 |
| 7503 | 73 | | | IPC |
| 7504 | 74 | | | アペキシフィケーション |
| 7601 | 80 | | 根管治療 | ラバーダム |
| | | | ses on PHIMS | |
| 7602 | 81 | | | 髄腔開拡 |
| 7603 | 83 | | | 根管拡大 |
| 7604 | 84 | | | 根管洗浄 |
| 7605 | 85 | | | 根管貼薬 |
| 7606 | 86 | | | 根管充填 |
| 7607 | 87 | | | 予後観察 |
| | | | | |
| 7608 | 257 | | | 根管治療(一連) |
| 7701 | 90 | 歯周治療 | 歯周基本治療 | 診断 |
| 7702 | 91 | | | 治療計画 |
| 7703 | 92 | | | プラークコントロール指導 |
| 7711 | 258 | | | プラークコントロール指導(定期管理)(一連) |
| | | | | |
| 7704 | 235 | | | PMTC |
| 7705 | 93 | | | スケーリング |
| 7706 | 94 | | | ルートプレーニング |
| 7707 | 95 | | | 生活習慣指導 |
| 7708 | 236 | | | 咬合調整 |
| | | | | |
| 7709 | 96 | | | 暫間固定 |
| 7710 | 97 | | | リコール説明 |
| 7712 | 259 | | | 歯周基本治療(一連) |
| 7801 | 98 | | メインテナンス | メインテナンス |
| 7901 | 99 | | 歯周外科手術 | 歯周外科手術 |
| | | 1-6-070 | | |
| 8101 | 103 | 補綴 | クラウン・ブリッジ | 支台築造 |
| 8102 | 104 | | | 形成 |
| 8103 | 105 | | | 印象採得 |
| 8104 | 106 | | | 咬合採得 |
| | | | | |
| 8105 | 107 | | | 暫間補綴 |
| 8106 | 108 | | | 試適 |
| | | | | |
| 8107 | 109 | | | 調整 |
| 8107 8108 | 110 | | | 調整 装着 |
| 8108 | 110 | | | 装着 |
| 8108 8109 | 110 112 | | | 装着 補綴装置等の除去 |
| 8108 8109 8110 | 110 112 237 | | | 装着 補綴装置等の除去 補綴装置等の脱離 |
| 8108 8109 8110 8111 | 110 112 237 260 | | | 装着 補綴装置等の除去 補綴装置等の脱離 クラウン・ブリッジ(一連) |
| 8108 8109 8110 8111 8201 | 110 112 237 260 116 | | 可撤性床義齒 | 接着 補綴装置等の除去 補綴装置等の脱離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 |
| 8108 8109 8110 8111 | 110 112 237 260 | | 可撤性床養齒 | 装着 補綴装置等の除去 補綴装置等の脱離 クラウン・ブリッジ(一連) |
| 8108 8109 8110 8111 8201 | 110 112 237 260 116 | | 可撤性床義齒 | 接着 補綴装置等の除去 補綴装置等の脱離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 | 110 112 237 260 116 115 | | 可撤性床義齒 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の脱離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 的処置 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 | 110 112 237 260 116 115 117 | | 可撤性床義歯 | 装着 振級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 | 110 112 237 260 116 115 117 118 | | 可撤性床義齒 | 装着 極級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 | | 可撤性床義歯 | 装着 無線装置等の除去 補線装置等の脱離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 防圧形成 巨乗採得 咬合採得 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 | | 可撤性床養歯 | 装着 補級装置等の除去 桶級装置等の於理 クラン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 口象採得 吸合採得 人口歯選択 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 | | 可撤性床機齒 | 装着 無線装置等の除去 補線装置等の脱離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 防圧形成 巨乗採得 咬合採得 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 | | 可撤性床義歯 | 装着 補級装置等の除去 桶級装置等の於理 クラン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 口象採得 吸合採得 人口歯選択 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 | | 可撤性床養歯 | 装着 極級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 咬合採得 人口幽選択 蝋義曲試通 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 | | 可撤性床義齒 | 装着 編録装置等の除去 補級装置等の除生 神級装置等の脱離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 防免服 防免取 防免取 防免採得 咬合採得 夾合採得 夾合採得 炎合採得 蒸着調整 装着 調養 装着 前の患者指導 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8208 8209 8210 8211 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 | | 可撤性床袭齒 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の於建 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 前処置 防圧形成 印度形成 呼合採得 咬合採得 人口幽選択 頻義幽試過 装着時の患者指導 義曲調整 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 126 127 | | 可撤性床養歯 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 PA 合採得 人口幽選択 類義幽試過 装着 装着 装飾の患者指導 養典調整 義曲修理 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8211 8212 | 110 112 237 260 116 117 118 119 120 121 122 123 212 212 212 225 261 | | | 英籍 補級装置等の除去 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前外組 筋圧形成 印象採得 吸合採得 人口慮遅択 無義歯託適 装着時の患者指導 義曲側整 養血修理 可戴性味義歯(一連) |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 126 127 | | 可放性床機歯 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 PA 合採得 人口幽選択 類義幽試過 装着 装着 装飾の患者指導 養典調整 義曲修理 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8211 8212 | 110 112 237 260 116 117 118 119 120 121 122 123 212 212 212 225 261 | | | 英籍 補級装置等の除去 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前外組 筋圧形成 印象採得 吸合採得 人口慮遅択 無義歯託適 装着時の患者指導 義曲側整 養血修理 可戴性味義歯(一連) |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8214 8215 | 110 112 237 260 115 117 118 119 120 121 121 122 123 212 261 126 128 | | インブラント 弱関節症 | 接着 福経装置等の除去 補経装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 交合採得 人口由選択 蝋義曲試適 装着 装飾の患者指導 表面調整 義曲調整 養歯の患者指導 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8206 8208 8209 8211 8211 8212 8213 8301 8401 8501 | 110 112 237 246 115 117 118 119 120 121 122 123 212 126 127 261 129 240 | 型門公徽 体 | インブラント 弱関節症 高齢者に対する治療 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 防圧形成 印象採得 吹合採得 人口歯違択 類義菌試過 装着 装着 装飾の患者指導 養健調整 義歯修理 可微性床養歯(一連) インプラント 顎関節症 高齢者への治療の実践 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8401 9101 | 110 112 237 260 116 115 117 118 120 121 122 123 124 126 127 261 128 128 129 1240 121 128 129 129 120 120 121 121 122 123 124 125 127 127 128 129 129 129 129 129 129 129 129 | 専門治療、他 | インブラント 弱関節症 | 装着 極級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処理 筋圧形成 印象採得 咬合採得 人類義由認控 装着時の患者指導 養曲修理 可微性味養歯(一連) インブラント 切爾整本の治療の実践 フッ化物塗布 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8401 8501 9101 | 110 112 237 260 116 115 117 120 121 121 122 123 212 126 128 129 240 213 262 | 専門治療、他 | インブラント 弱関節症 高齢者に対する治療 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処理 防定形成 印象採得 咬合採得 人口幽選択 頻素直 養養師の患者指導 養命師の患者指導 養命呼吸 動性床養歯(一連) インプラント 領原助症 高等への治療の実践 フッ化物塗布(定期管理)(一連) |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8213 8301 8401 8501 9101 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 121 122 123 240 240 213 | 専門治療、他 | インブラント 弱関節症 高齢者に対する治療 | 接着 補級装置等の除去 補級装置等の除去 神級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 施圧形成 印象採得 咬合採得 人口幽選択 頻義歯試適 装着 装着的の患者指導 養歯調整 養歯調整 養歯調整 養歯が理 の散性未養歯(一連) インプラント 類関節症 高齢者への治療の実践 フッ化物強布(定期管理)(一連) 予防填塞 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8401 8501 9101 | 110 112 237 260 116 115 117 120 121 121 122 123 212 126 128 129 240 213 262 | 専門治療、他 | インブラント 弱関節症 高齢者に対する治療 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処理 防定形成 印象採得 咬合採得 人口幽選択 頻素直 養養師の患者指導 養命師の患者指導 養命呼吸 動性床養歯(一連) インプラント 領原助症 高等への治療の実践 フッ化物塗布(定期管理)(一連) |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8213 8301 8401 8501 9101 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 121 122 123 240 240 213 | 専門治療、他 | インブラント 弱関節症 高齢者に対する治療 | 接着 補級装置等の除去 補級装置等の除去 神級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 施圧形成 印象採得 咬合採得 人口幽選択 頻義歯試適 装着 装着的の患者指導 養歯調整 養歯調整 養歯調整 養歯が理 の散性未養歯(一連) インプラント 類関節症 高齢者への治療の実践 フッ化物強布(定期管理)(一連) 予防填塞 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8401 9107 9107 9108 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 126 127 261 128 129 240 213 240 240 240 240 250 260 260 270 270 270 270 270 270 270 27 | 専門治療、他 | インブラント 弱関節症 高齢者に対する治療 | 英籍 補級装置等の除去 補級装置等の除去 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前別服 筋圧形成 印象採得 咬合採得 人口論選択 頻繁曲試透 英籍時の患者指導 養歯時の患者指導 養歯時の患者指導 養歯時の患者指導 養歯体壁里 可酸性床養歯(一連) インプラント 頸関節症 高齢者への治療の実践 フッ化物塗布 フッ化物塗布(定期管理)(一連) 予防壊塞 予防速塞 不防速率 不防速度(定期管理)(一連) 乳魚冠修復 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8211 8212 8213 8301 8401 8501 9107 9108 9103 9104 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 126 127 261 127 261 128 129 240 240 240 263 262 214 263 215 215 | | インブラント 弱関節症 高齢者に対する治療 | 接着 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前外置 筋圧形成 印象採得 咬合取得 人口由選択 頻義曲試適 接着 數面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表 |
| 8108 8109 8110 8211 8202 8202 8203 8204 8205 8206 8206 8207 8208 8209 8211 8212 8213 8301 8501 9101 9107 9108 9108 9108 | 110 112 227 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 126 127 261 127 261 128 129 240 213 212 240 213 215 263 215 | 専門治療、他 | インブラント 弱関節症 高齢者に対する治療 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 投計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 咬合採得 人口幽選択 頻義幽試速 装着 装着 時の患者指導 義曲調整 義曲調整 義曲調整 義曲調整 表面修理 可数性床養慮(一連) イツ沢即加定 高齢者への治療の実践 フッ化物塗布(定期管理)(一連) 予防填塞(定期管理)(一連) 予防填塞(定期管理)(一連) 乳菌虫核菌 保障装置の製作 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8211 8212 8213 8301 8401 8501 9107 9108 9103 9104 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 126 127 261 127 261 128 129 240 240 240 263 262 214 263 215 215 | 華門治療、他 | インブラント 弱関節症 高齢者に対する治療 | 接着 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前外置 筋圧形成 印象採得 咬合取得 人口由選択 頻義曲試適 接着 數面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表面調整 表 |
| 8108 8109 8110 8211 8202 8202 8203 8204 8205 8206 8206 8207 8208 8209 8211 8212 8213 8301 8501 9101 9107 9108 9108 9108 | 110 112 227 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 126 127 261 127 261 128 129 240 213 212 240 213 215 263 215 | 専門治療、他 | インブラント 弱関節症 高齢者に対する治療 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 投計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 咬合採得 人口幽選択 頻義幽試速 装着 装着 時の患者指導 義曲調整 義曲調整 義曲調整 義曲調整 表面修理 可数性床養慮(一連) イツ沢即加定 高齢者への治療の実践 フッ化物塗布(定期管理)(一連) 予防填塞(定期管理)(一連) 予防填塞(定期管理)(一連) 乳菌虫核菌 保障装置の製作 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8211 8212 8213 8301 8501 9101 9107 9108 9103 9105 9106 | 110 112 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 126 127 261 128 129 240 213 262 214 263 215 216 217 217 218 | 専門治療、他 | インブラント 顎関節症 高齢者に対する治療 小児歯科 障害者歯科 | |
| 8108 8109 8110 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8401 8501 9101 9102 9108 9103 9104 9105 9105 9106 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 221 22 126 127 261 128 240 240 213 262 240 214 263 262 27 27 261 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27 | - 事門治療、他 | インプラント 類関節症 高齢者に対する治療 小児歯科 | 接着 福経装置等の除去 補経装置等の脱離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 咬合採得 人口陶選択 蝋義歯試適 接着 野の患者指導 養健師整 養健師里 可酸性床養太(一連) インプラント 頭関節症 高齢者への治療の実践 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッと 砂磨底(一連) 列島対極 の原性原子 の原理の の原理の の原理の の原理の の原理の の原理の の原理の の原理の の原理の の原理の のの のの のの のの のの のの のの のの のの |
| 8108 8109 8110 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8206 8206 8208 8209 8211 8211 8212 8213 8301 8501 9101 9107 9108 9108 9108 9106 9209 9301 9302 | 110 112 227 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 126 127 261 128 219 240 213 212 214 263 215 216 217 218 238 239 220 | 専門治療、他 | インブラント 顎関節症 高齢者に対する治療 小児歯科 障害者歯科 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の股盤 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 咬合採得 人口幽遠択 類義幽試透 装着 装着 時の患者指導 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 義幽調整 養幽調整 養幽調整 養幽調整 養幽神理 可數性床養幽(一連) インブラント 顎隙助症 高齢者への治療の実践 フッ化物塗布 フッ化物塗布(定期管理)(一連) 予防損塞 子防損塞(定期管理)(一連) 列島或形態物 保陽装圖の製作 保護器をのブラッシング指導 障害者に対する幽科治療 成果期極例の診察 矯正発調の説明 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8401 8501 9101 9107 9102 9108 9106 9201 9301 9302 9303 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 123 212 123 212 214 261 27 261 128 215 216 217 218 238 219 220 221 | 専門治療、他 | インブラント 顎関節症 高齢者に対する治療 小児歯科 障害者歯科 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の股離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 咬合採得 人の資料 頻素歯試透 装着 装着 装着 動態整 養血修理 可微性床養歯(一連) インブラント 調製的症 高齢者への治療の実践 フッ化物塗布(定期管理)(一連) 予防填塞(定期管理)(一連) 予防填塞(定期管理)(一連) 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島五島 一連) 一連) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| 8108 8109 8110 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8401 9107 9107 9108 9108 9104 9106 9201 9301 9303 9304 | 110 112 237 260 116 115 117 120 121 122 123 212 126 127 261 128 129 240 213 215 216 217 217 218 219 220 238 238 238 238 239 249 240 250 261 271 271 272 273 274 275 275 275 275 275 275 275 275 | 専門治療、他 | インプラント 頸関節症 高齢者に対する治療 小児歯科 障害者歯科 矯正歯科 | 接着 補級装置等の除去 補級装置等の設盤 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 へ人口側選択 螺裏曲試適 装着時の患者指導 表面調整 養歯調整 養歯調整 養歯調整 養歯調整 養歯調整 養歯調整 養歯調整 表面。 上 可類性床裏面(一連) インブラント 可類性原理(一連) 子の化物変布(定期管理)(一連) 子が現塞 子の護衛 子の提拿 子の調整 子の調整 子の調整 子の調整 子の調整 子の変態 子の変態 子の変態 子の変態 子の変態 、現面 を変 、現面 を変 、現面 を変 、現面 を変 、現面 、現面 、現面 、現面 、現面 、現面 、現面 、現面 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8401 8501 9101 9107 9102 9108 9106 9201 9302 9303 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 123 212 123 212 214 261 27 261 128 215 216 217 218 238 219 220 221 | 専門治療、他 | インブラント 顎関節症 高齢者に対する治療 小児歯科 障害者歯科 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の股離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 咬合採得 人の資料 頻素歯試透 装着 装着 装着 動態整 養血修理 可微性床養歯(一連) インブラント 調製的症 高齢者への治療の実践 フッ化物塗布(定期管理)(一連) 予防填塞(定期管理)(一連) 予防填塞(定期管理)(一連) 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島冠修復 乳島五島 一連) 一連) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8206 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8211 8211 8213 8301 8401 9107 9107 9108 9108 9104 9106 9201 9301 9303 9303 | 110 112 237 260 116 115 117 120 121 122 123 212 126 127 261 128 129 240 213 215 216 217 217 218 219 220 238 238 238 238 239 249 240 250 261 271 271 272 273 274 275 275 275 275 275 275 275 275 | | インプラント 頸関節症 高齢者に対する治療 小児歯科 障害者歯科 矯正歯科 | 接着 補級装置等の除去 補級装置等の設盤 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 へ人口側選択 螺裏曲試適 装着時の患者指導 表面調整 養歯調整 養歯調整 養歯調整 養歯調整 養歯調整 養歯調整 養歯調整 表面。 上 可類性床裏面(一連) インブラント 可類性原理(一連) 子の化物変布(定期管理)(一連) 子が現塞 子の護衛 子の提拿 子の調整 子の調整 子の調整 子の調整 子の調整 子の変態 子の変態 子の変態 子の変態 子の変態 、現面 を変 、現面 を変 、現面 を変 、現面 を変 、現面 、現面 、現面 、現面 、現面 、現面 、現面 、現面 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8206 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8501 9107 9107 9108 9108 9109 9201 9301 9302 9303 9303 9304 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 126 127 261 128 213 215 240 213 215 216 217 218 238 239 240 221 222 223 224 | 専門治療、他 | インプラント 頸関節症 高齢者に対する治療 小児歯科 障害者歯科 矯正歯科 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の除去 神級装置等の除去 地級計画 か処置 筋圧形成 印象採得 咬合採得 人口幽遠択 類義幽試透 装着 装曲師思 養幽調整 義幽調整 義幽師理 可數性床養幽(一連) インプラント 顎隙助症 高齢者への治療の実践 フッ化物塗布 フッ化物塗布 フッ化物塗布(定期管理)(一連) 予防填塞 子防填塞 子防填塞(定期管理)(一連) 乳島双修復 乳島短節 保藤装置の製作 優勝装置の影件 保護者 地面が 保護者 がのまる 大力であった。 大力であった。 大力であった。 大力であった。 大力であり、 大力でも 大 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8401 9101 9107 9102 9108 9109 9109 9109 9301 9302 9303 9304 9402 9403 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 123 212 240 213 266 214 263 215 216 217 218 238 219 240 221 222 223 224 225 | 専門治療、他 | インプラント 関関節症 高齢者に対する治療 小児歯科 障害者歯科 矯正歯科 歯科麻酔 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の脱離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 吸合採得 人の資料 頻素歯試透 装着 装着時の患者指導 義曲誘逐 装着等の患者指導 義曲修理 可微性床養値(一連) インブラント 調関防症 高齢者への治療の実践 フッ化物塗布 フッ化物塗布(定期管理)(一連) 予防境器(定期管理)(一連) 予防境器(定期管理)(一連) 乳島冠修復 乳島辺修復 乳島辺修復 乳島辺修復 乳島辺修復 乳島辺修復 乳島辺修復 乳島辺修復 乳島或島 原発器(国型作 保護者へのブラッシング指導 随き者に対する歯科治療 成長期症例の診察 随去解注解の製作 保護者の製作 保護者の製作 保護者の製作 保護者の割 原本等置の製作 保護者の影明 検査・診断・計画 施工装置の製作 局角を終 のとの を表情の が成長期症例の診察 随差可能の が成長期症例の診察 随差可能例の診察 随差可能の が成長期症例の診察 随差を が成長期症例の診察 随差を が成長期症例の診察 随差を が成長期症例の診察 随差を が成長期症例の診察 随差を が成長期症例の診察 が成長期症例の を の と の と の と の と の と の と の と の と |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8401 9101 9102 9103 9104 9105 9105 9106 9301 9301 9301 9302 9304 9401 9403 9501 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 124 126 127 261 127 261 128 129 240 214 263 215 216 217 218 228 229 220 224 225 226 226 | | インプラント 頸関節症 高齢者に対する治療 小児歯科 障害者歯科 矯正歯科 歯科麻酔 | 接着 編経装置等の除去 補級装置等の除去 補級装置等の股盤 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 法療計画 前外間 原圧形成 印象採得 交合採得 人口由選択 蝦義曲試通 装着 動 |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8206 8207 8208 8209 8211 8212 8213 8301 9101 9107 9108 9108 9109 9109 9109 9201 9301 9301 9302 9303 9303 9304 9401 9401 9401 9601 | 110 112 227 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 212 126 127 261 127 261 128 129 240 213 215 216 217 218 218 229 220 221 221 222 222 222 224 225 224 | 専門治療、他 | インブラント 類関的症 高齢者に対する治療 小児歯科 障害者歯科 矯正歯科 歯科麻酔 放射線 救急処置 | 装着 補級装置等の除去 補級装置等の除去 神級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 治療計画 前処置 筋圧形成 印象採得 咬合採得 人口幽選択 頻義齒試透 装着 時の患者指導 義曲調整 義曲調整 義曲が理 可数性床養歯(一連) イッアント 物質節症 高齢者への治療の実践 フッ化物塗布(定期管理)(一連) 予防境塞 子防境塞 (定期管理)(一連) 予防境塞 (定期管理)(一連) 予防境塞 (定期管理)(一連) 乳菌対愈 保障装置の製作 保護器の刻作 保護器の刻作 保護器の刻印 成長期症例の診察 場面に装置の設明 成長期症例の診察 場面に装置の設明 成長期症例の診察 場面に装置の設明 成長期症例の診察 場面に装置の設明 成長期症例の診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の設作 のたりの診察 場面に装置の のたりのが のたりの診察 場面に装置の のたりのが のたりの診察 場面に装置の のたりの診察 場面に装置の のたりのが のたりの診察 場面に装置の のたりの診察 場面に装置の のたりのが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたりが のたり |
| 8108 8109 8110 8111 8201 8202 8203 8204 8205 8206 8207 8208 8209 8210 8211 8212 8213 8301 8401 9101 9102 9103 9104 9105 9105 9106 9301 9301 9301 9302 9304 9401 9403 9501 | 110 112 237 260 116 115 117 118 119 120 121 122 123 124 126 127 261 127 261 128 129 240 214 263 215 216 217 218 228 229 220 224 225 226 226 | | インプラント 頸関節症 高齢者に対する治療 小児歯科 障害者歯科 矯正歯科 歯科麻酔 | 接着 編経装置等の除去 補級装置等の除去 補級装置等の除去 補級装置等の脫離 クラウン・ブリッジ(一連) 設計 法療計画 前外型 原圧形成 印象採得 交合採得 人口由選択 蝦義曲試選 装着 現 |

(資料2) C領域の到達目標と共通評価項目の紐付け

C. 基本的診療業務

1. 基本的診療能力等

| □ 基本的ので、発生・影響・影響・影響・ | 到達目標 | 評価の視点および観点 | 連携用e-Logbook ID |
|---|--|---|--|
| ② 全身状態を考慮した上で、軽硬元及び旧政内の基本的な影響を実施し、影響所見を解析する。(6) ① 影響所見にだころ類の検索を表現、実施し、検索視象を解析する。(6) ② 影響所見にだころ類の検索を表現、実施し、検索視象を解析する。(6) ② 影響所見にだころ類の検索を表現、実施し、検索視象を経済し、企業の ② 影響所見にだころ類の検索を表現、大変に振移を診止者もしたとで、表式等を導かる一部単数の影響 ② 影響が高いたがある。(6) ② 影響が高いたがある。(6) ② 影響が高いたがある。(6) ② 影響が高いたがある。(6) ② 影響が高いたがある。(6) ② おからの影響を表現する。(6) ② おからの影響を表現する。(6) ② おからの影響を表現する。(6) ② 素が高な対象を表現したまで、わかりやすい意葉を下分の説明を行い、患患力が多形変を見来えてを紹介。 ② 素が高な対象を見いたまで、わかりやすい意葉を下分の説明を行い、患患力が多悪を見まてを紹介。 ② 素が高な対象を見いたまで、わかりやすい意葉を下分の説明を見かる。(6) ② 素が高な対象を見いたまで、わかりやすい意葉を下分の説明を見かる。(6) ② 素が高な対象を表現する。(6) ② 素が高なが表現する。(6) ② 素が高なが表現する。(6) ② 素が高なが表現する。(6) ② 素が表が表現を表現する。(6) ② 素が高なが表が多なが表がままままままままままままままままままままままままままままままま | (1) 基本的診察・検査・診断・診療計画 | | |
| □ 日かりか。 他国際日本の ・ | ① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。(必修) | 初診時医療面接、再診時医療面接など | 1, 3 |
| ② お世帯の上のたと他がの政治を表現、実出し、技術的生物を向いませたが、(必要) 他できての中華のど 24、120 24、200 24 2 | | 口腔内診察、頭頭部診察、各種臨床検査の必要性の判断など | 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 242, 243, 244 |
| □ 砂部紅泉工造了8、色巻の状況・状態を総合的に考慮したとで、考え得ら極々な一口間密位の診療計 無分割に上まするカンファレンス参加、プロトコール内成など (2) | ③ 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。 (必修) | | |
| 過去機能に、2 高来する。 (の物) | ④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。(必修) | 担当患者の診断に関する口頭試問、カンファレンスへの参加など | 2, 4, 242 |
| | | 治療計画に関するカンファレンス参加、プロトコール作成など | 185 |
| ① 由析の意を予助するための日間報主義権、基本的な手技を実践する。(必修) | | 患者への病状説明、インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンへの理解、同意書の取得な ど | 4, 185, 5 |
| 2 一般的な動料医患に対わずるために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。(必修) | (2) 基本的臨床技能等 | | |
| 金典の機能構成態 284、45、46、47、48、49、51.53、54、55、55、57、59、60、61、62、63、54、65、66、67、69、223、187、252、255 255 255 255 255 255 255 255 255 | ① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。 (必修) | 口腔衛生指導、フッ化物の塗布、PMTC、歯冠研磨など | 92, 213, 214, 233, 187, 258, 262, 263 |
| □ 高島の使用観点形 187、254、255、255 187、254、255、255 187、254、255、255 187、254、255、255 187、254、255、255 187、254、255、255 187、254、255、255 187、254、255、255 187、254、255、255 187、254、255、255 187、254、255、255 187、254、255、255 187、254、255 187、254、255 187、254、255 187、254、255 187、254、255 187、254、255 187、254、255 187、254、255 187、254、255 187、254、255 187、254、255 187、254、255 187、254、255 187、254 187、254 187、254 187、254 187、254 187、254 187、254 187、254 187、254 187、254 187、254 187 | ② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。(必修) | | |
| □ の | a.歯の硬組織疾患 | う蝕処置、コンポジットレジン修復、インレー修復など | |
| 公田総外科院患 技商、消炎処理、切開、総合など 35, 36, 37, 38, 204, 41, 205, 206, 207, 208, 209, 210, 187, 252, 253 日の機能の発する。日意機能の係下 日診機能管理、日診機能管理、日診機能影響を安全に行うたかに必要なバイタルサインの形式とど 192, 187, 269, 261 日の機能を受えて行うたかに必要なバイタルサインを観度し、全身状態を評価する。(必修) 合性症状、修復物影響、素機破験などへの対応など 241, 233, 127, 187 日お診療を安全に行うたかに必要なバイタルサインを観度し、全身状態を評価する。(必修) かが身際の配観、技工格示書、診療情報提供書の記載など 55, 7 お参照の記載、技工格示書、診療情報提供書の記載など 31, 189, 190, 191, 193 田舎管理 日診療能理となる全身的な発展、無用素利等について関発する。(必修) セミナーへの参加、レボートの音楽の設明、記載など 186 日本の表の機能等は上記が必要な必要な対象に対し、最終治師にいての影響もなど 25, 26, 261 日本の表の機能等をよった。必要に応じて主診の感情等と診療情報を共有する。(必修) セミナーへの参加、レボートの音楽の設明、記載など 186 日本の表の機能等について、必要に応じて主診の感情等と診療情報を共有する。(必修) セミナーへの参加、レボートの作成、全身疾患や個用素剤に関する理解、お菓手帳の内容確認など 191 全身状態に起ぎが必要な多様に対し、最終治師にバイタルサインのドエニタリングを行う。(必修) 日本の状態に応じた基本的な対応法を実践する。(必修) 日本の状態に応じた基本的な対応法を実践する。(必修) 日本の状態に応じた基本的な対応法を実践する。(必修) 日本に素素との理性をど 211, 224 日本の状態に応じた基本的な対応法を実践する。(必修) 日本に素素との理性をど 211, 214, 215, 216, 217, 218, 240 日本の状態に応じた高料医療の提供 213, 214, 215, 216, 217, 218, 240 2 6 2 5 7 7 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 | b.歯髄疾患 | 覆簡、抜簡、感染根管処置など | 71, 72, 73, 74, 80, 81, 83, 84, 85, 86, 87, 187, 257 |
| 自選機器 / 投機器図と | c.歯周病 | 歯周基本治療(スケーリング・ルートプレーニング、TBI、咬合調整、暫間固定)など | 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99,236, 187, 259 |
| 自用機能の交換 | d.口腔外科疾患 | 抜歯、消炎処置、切開、縫合など | 35, 36, 37, 38, 204, 41, 205, 206, 207, 208, 209, 210, 187, 252, 253 |
| ③ 基本的な応急処置を実践する。(必修) 急性症状、修復物配應、養血破損などへの対応など 241,233,127,187 ⑥ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。(必修) バイタルサインの測定など 6,7 ⑤ 診療に関する記録や交害 (診療録、処方せん、歯科核工指示毒等)を作成する。(必修) 診療録の記載、技工指示書、診療情報提供書の記載など 3,189,190,191,193 ⑥ 医療事故の予防に関いる基本的な対策について理解し、実践する。(必修) インシデントレポートの意義の認明、記載など 186 ① 患者可匿 1 ② 自治治療上問題となる全身的な疾患、展用素剤等について説明する。(必修) セミナーへの参加、レポートの作成、全身疾患や服用薬剤に関する理解、お薬手帳の内容確認など 1 ② 含を技態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。(必修) 関連医療機関との診療情報の共有など 211,224 ④ 歯科診療時の主な併発症や偶免症への基本的な対応法を実践する。(必修) 財務・・後のバイタルサインの確認、全身管理計画の立案など 211,224 ⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な対応法を実践する。(必修) 超当患者に対する療養上の管理など 211 ⑥ 妊娠剤、乳が脱に応じた直科医の理様 担当患者に対する療養上の管理など 211 ⑥ 妊娠剤、乳が脱に応じた直科医療の提供 213,214,215,216,217,218,240 ② 各ライフステージに応じた総合診療計画の立案など 213,214,215,216,217,218,240 ② をライフステージが近全身検験に応じた直科医療を実践する。(必修) 小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など 213,214,215,216,217,218,240 ② を発療表書等に対する診問歯科診療を経験する。(必修) 小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など 213,214,215,216,217,218,240 ② を発養素等に対する診問歯科診療を経験する。(必修) 小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など 31,202 | e.歯質と歯の欠損 | 歯冠補綴、欠損補綴など | |
| ⑤ 直科診療を安全に行うために必要なパイタルサインを観察し、全身状態を評価する。(必修) パイタルサインの測定など 5,87 ⑤ 診療に関する記録や文書(診療練、処方せん、曲科技工指示審等)を作成する。(必修) 診療排の記載、技工指示書、診療情報提供書の記載など 3,189,190,191,193 ⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。(必修) インシデントレボートの意義の説明、記載など 186 ① 直科治療上間戀となる全身的な疾患、展用薬剤等について説明する。(必修) セミナーへの参加、レボートの作成、全身疾患や展用薬剤に関する理解、お薬手帳の内容確認など 191 ② 全身依態に配連が必要な患者に対し、曲料治療中にパイタルサインのモニタリングを行う。(必修) 期前・中・後のパイタルサインの確認、全身管理計画の立案など 対組総の損傷、誤数・誤嚥、BLSの実施(シミュレータでも可)、パイタルサインの解釈、全身状態の評価など 211,224 ③ 直科診療特の主な特発症や保発症への基本的な対応法を実践する。(必修) 期前・中・後のパイタルサインの確認、全身管理計画の立案など 対組総の損傷、誤数・誤嚥、BLSの実施(シミュレータでも可)、パイタルサインの解釈、全身状態の評価など 211 ② 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な病前・術後管理及び療養上の管理を実践する。(選 収) 担当患者に対する療養上の管理など 211 ② 任治療・発力児服、学齢釈、成人朋、高齢病の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本がな予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。(必修) 場面のイフステージに応じた総合診療計画の立案など 213,214,215,216,217,218,240 ② 各ライフステージ及が全身状態に応じた歯科疾患を支践する。(必修) 小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など 213,214,215,216,217,218,240 ② 在宅療養患者等に対する診問歯科診療を経験する。(必修) が関係も診療への同行、口腔衛生管理など 31,202 | f.口腔機能の発達不全、口腔機能の低下 | 口腔機能管理、口腔機能訓練の指導など | 192, 187, 245 |
| 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科牧工指示書等)を作成する。(必修) 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科牧工指示書等)を作成する。(必修) インシデントレポートの意義の説明、記載など 患者管理 血病治療上問題となる全身的な疾患、服用素剤等について認明する。(必修) セミナーへの参加、レポートの作成、全身疾患や服用薬剤に関する理解、お薬手帳の内容確認など 金倉权医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。(必修) 型金角収医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。(必修) 金倉対影に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。(必修) (必修) (必修) | ③ 基本的な応急処置を実践する。(必修) | 急性症状、修復物脱離、義歯破損などへの対応など | 241, 233, 127, 187 |
| ⑤ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。(必修) インシデントレボートの意義の説明、記載など 第6 ① 直針治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。(必修) セミナーへの参加、レボートの作成、全身疾患や服用薬剤に関する理解、お薬手帳の内容確認など ② 全身状態に配連が必要な患者に対し、歯科治療中について必ずと診療情報を共有する。(必修) 関連医療機関との診療情報の手なが必要な患者に対し、歯科治療中にベイタルサインのモニタリングを行う。(必修) 関前・中・後のバイタルサインの確認、全身管理計画の立案など 前針的療持の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。(必修) ③ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な対応法を実践する。(必修) 別が、シストランスを受ける。(必修) 別が重要など 担当患者に対する療養上の管理など 担当患者に対する療養上の管理など 担当患者に対する療養上の管理など 担当患者に対する療養上の管理など 近ば原形、乳効果の患者に対し、急ライフステージに応じた歯科疾患の基本の大形に関する理解していて連解し、実践する。(必修) 近妊娠期、乳効果、乳効果、乳効果、乳効果、乳効果、乳肉果、乳効果、乳効果、乳効果、乳効果、乳効果、乳効果、乳効果、乳効果、乳肉果、乳肉果、乳肉果、乳肉果、乳肉果、乳肉果、乳肉果、乳肉果、乳肉果、乳肉 | ④ 歯科診療を安全に行うために必要なパイタルサインを観察し、全身状態を評価する。(必修) | パイタルサインの測定など | 6, 7 |
| ③ 患者管理 ② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。(必修) ② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。(必修) ③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にパイタルサインのモニタリングを行う。(必修) 前前・中・後のパイタルサインの確認、全身管理計画の立案など ② 食料態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にパイタルサインのモニタリングを行う。(必修) 前前・中・後のパイタルサインの確認、全身管理計画の立案など ② 放射機の損傷、誤飲・誤猶、BLSの実施(シミュレータでも可)、パイタルサインの解釈、全身状態の評価など ⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な対応法を実践する。(必修) ⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。(選別) 担当患者に対する療養上の管理など ② 担当患者に対する療養上の管理など ② 投稿制、乳効児肌、学齢肌、成人肌、高齢網の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基帯がな不妨害項。回避機管理していて関係し、実践する。(必修) ② 各ライフステージに応じた総合診療計画の立案など ② 各ライフステージに応じた総合診療計画の立案など ② 名ライフステージに応じた総合診療計画の立案など ② 名ライフステージに応じた総合診療計画の立案など ② 名ライフステージに応じた総合診療計画の立案など ② 213、214、215、216、217、218、240 ② は、214、215、216、217、218、240 | ⑤ 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作成する。(必修) | 診療録の記載、技工指示書、診療情報提供書の記載など | 3, 189, 190, 191, 193 |
| ① 責治療上問題となる全身的な疾患、履用素剤等について説明する。(必修) セミナーへの参加、レボートの作成、全身疾患や服用薬剤に関する理解、お薬手帳の内容確認など ② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。(必修) 関連医療機関との診療情報の共有など 191 ③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。(必修) 術前・昨・後のバイタルサインの確認、全身管理計画の立案など 211, 124 ④ 歯科診療時の主な併発症や関発症への基本的な対応法を実践する。(必修) 数知識の現儀、誤飲・評価、BLSの実施(シミュレータでも可)、バイタルサインの解釈、全身状態の評価など 186 ⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。(選択) 担当患者に対する療養上の管理など 211 (4) 患者の状態に応じた直科医療の提供 211 ⑥ 妊娠期、乳効児期、学酵期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた無科疾患の基本に対する療養上の管理など 患者のライフステージに応じた総合診療計画の立案など 213, 214, 215, 216, 217, 218, 240 ② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科療療を経験する。(必修) 小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など 213, 214, 215, 216, 217, 218, 240 ② 在宅療養患者等に対する診問歯科診療を経験する。(選択) 訪問歯科診療への同行、口腔衛生管理など 31, 202 | ⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。 (必修) | インシデントレポートの意義の説明、記載など | 186 |
| ② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。(必修) 関連医療機関との診療情報の共有など 91 ③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。(必修) 期前・中・後のバイタルサインの確認、全身管理計画の立案など 211,224 ④ 責料診療時の主な併発症や偽発症への基本的な対応法を実践する。(必修) 数組織の損傷、語飲・誤嚥、BLSの実施(シミュレータでも可)、バイタルサインの解釈、全身状態の評価など ⑤ 入股患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。(選択) 担当患者に対する療養上の管理など 211 (4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供 担当患者に対する療養上の管理など 211 ② 経験、乳切児期、学齢病、成人期、高齢閉の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の潜から下的管理、口腔機能管理について理解し、実践する。(必修) 患者のイフステージに応じた総合診療計画の立案など 213,214,215,216,217,218,240 ② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科療療を実践する。(必修) 小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など 213,214,215,216,217,218,240 ② 在宅海養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。(選択) 訪問歯科診療への同行、口腔衛生管理など 31,202 | (3) 患者管理 | | |
| ③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にパイタルサインのモニタリングを行う。(必修) 術前・中・後のパイタルサインの確認、全身管理計画の立案など 211,224 ⑥ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。(必修) 数組織の損傷、誤飲・誤嚥、BLSの実施(シミュレータでも可)、パイタルサインの解釈、全身状態の評価など 186 ⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。(選択) 担当患者に対する療養上の管理など 211 (4) 患者の状態に応じた直科医療の提供 211 (2) 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔を機管理について理解し、実践する。(必修) 患者のテイフステージに応じた総合診療計画の立案など 213, 214, 215, 216, 217, 218, 240 ② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。(必修) 小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など 213, 214, 215, 216, 217, 218, 240 ③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。(選択) 訪問歯科診療への同行、口腔衛生管理など 31, 202 | ① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。 (必修) | セミナーへの参加、レポートの作成、全身疾患や服用薬剤に関する理解、お薬手帳の内容確認など | 1 |
| (3) 責料診療時の主な併発症への基本的な対応法を実践する。 (必修) 数組織の損傷、誤飲・誤傷、BLSの実施(シミュレータでも可)、バイタルサインの解釈、全身状態の評価など 担当患者に対する療養上の管理など 担当患者に対する療養上の管理など 211 (4) 患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。 (選択) 担当患者に対する療養上の管理など 211 (4) 患者の状態に応じた自科医療の提供 210 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な不妨管理、口腔機能管理について理解し、実践する。 (必修) 小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など 213、214、215、216、217、218、240 213、214、215、216、217、218、240 31、202 31、214、215、216、217、218、240 31、202 | ② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。(必修) | 関連医療機関との診療情報の共有など | 191 |
| (3) 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な対応法を実践する。(必修) 整の評価など 担当患者に対する療養上の管理など 担当患者に対する療養上の管理など 担当患者に対する療養上の管理など 担当患者に対する療養上の管理など 担当患者に対する療養上の管理など 担当患者に対する療養上の管理など 211 (4) 患者の状態に応じた直科医療の提供 | ③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にパイタルサインのモニタリングを行う。(必修) | 術前・中・後のパイタルサインの確認、全身管理計画の立案など | 211, 224 |
| 担当患者に対する療養上の管理など | ④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。(必修) | | 186 |
| ① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。(必修) ② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。(必修) ① 本宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。(選択) 訪問歯科診療への同行、口腔衛生管理など 31,202 | | 担当患者に対する療養上の管理など | 211 |
| 本的な子防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。 (必修) 思者のライフステージに応じた総合診療計画の立案など 213, 214, 215, 216, 217, 218, 240 ② 各ライフステージ及び全身状態に応じた曲料医療を実践する。 (必修) 小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など 213, 214, 215, 216, 217, 218, 240 ③ 在宅療養患者等に対する訪問曲料診療を経験する。 (選択) 訪問曲料診療への同行、口腔衛生管理など 31, 202 | (4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供 | | |
| ③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。 (選択) - 訪問歯科診療への同行、口腔衛生管理など - 31,202 | | 患者のライフステージに応じた総合診療計画の立案など | 213, 214, 215, 216, 217, 218, 240 |
| | ② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。(必修) | 小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など | 213, 214, 215, 216, 217, 218, 240 |
| ③ 障害を有する患者への対応を実践する。(選択) 障害者直科治療の体験など 238 | ③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。 (選択) | 訪問歯科診療への同行、口腔衛生管理など | 31, 202 |
| | ④ 障害を有する患者への対応を実践する。 (選択) | 障害者歯科治療の体験など | 238 |

2. 基本的診療能力等

| 到達目標 | 評価の視点および観点 | 連携用ID |
|---|---|--------------------|
| (1) 歯科専門職間の連携 | | |
| ① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。(必修) | 歯科衛生士との協働など | 188 |
| ② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。 | 計一些一等点提升 1 . 本科社主 1 . 本社都社 17 | 189 |
| (必修) | 技工指示書の作成と歯科技工士への依頼など | 109 |
| ③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理 | 連携口腔ケア、NSTへの参加など | 188, 189, 190, 191 |
| 解し、説明する。(必修) | 連携口腔プラ、NSIへの参加など | 100, 103, 130, 131 |
| (2) 多職種連携、地域医療 | | |
| ① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。 (必修) | 地域包括ケアセンターのレクチャー、見学など | 31, 202 |
| ② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。 (必修) | 在宅歯科医療、地域歯科医療についてのレクチャー、見学など | 31, 202 |
| ③ 在宅療養患者や介護施設等の入所者に対する介護関係職種が関わる多職種チームについて、チームの | 連携口腔ケア、NST、高齢者福祉施設への訪問歯科などへの参加など | 31, 202 |
| 目的を理解し、参加する。(選択) | 歴が口は277、N31、同即省間回が以、Vの利用面付など、VVを加なと | 31, 202 |
| ④ 訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。(選 | 訪問歯科診療での医療・介護関係職種との連携など | 202 |
| 択) | 割川町内10万0万 (V 10万0万) 「 10万0万 (W 10万0万) (C 10万0万) 「 10万0万 (C 10万0万 | 202 |
| ⑤ 離島やへき地における地域医療を経験する。 (選択) | 離島、へき地診療の同行、見学など | 31, 251 |
| ⑥ がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種 | 周衛期等口腔管理において、チーム医療への参加など | 203 |
| によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。(選択) | 門門別寺川は自住にむいて、7 月色が ツタ加なし | 203 |
| ⑦ 歯科専門職が関与する多職種チーム(例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチー | | |
| ム、口腔ケアチーム等)について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、 | 連携口腔ケア、NST、ICT、高齢者福祉施設への訪問診療に参加など | 202 |
| 関係者と連携する。(選択) | | |
| ⑧ 入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。(選択) | 退院支援チームへの参加など | 211 |
| (3) 地域保健 | | |
| ① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。 (必修) | セミナーへの参加、保健所での見学など | 239 |
| ② 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。(必修) | セミナーへの参加、保健所での見学など | 239 |
| ③ 保健所等における地域歯科保健活動を経験する。 (選択) | セミナーへの参加、保健所での見学など | 239 |
| ④ 歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する。 (選択) | 学校歯科検診への参加など | 233 |
| (4) 歯科医療提供に関連する制度の理解 | | |
| ① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説 | | |
| 明する。(必修) | セミナーへの参加、関連法規の理解など | |
| ② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。(必修) | 保険制度に関するセミナーへの参加、保険診療への参加、保険点数の算定など | 193 |
| ③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。(必修) | セミナーへの参加、訪問歯科診療への参加、介護保険制度の理解など | 31, 202 |

※ 赤字の項目は追加・修正のあった項目を示す

令和4年度厚生労働科学研究費補助金 (政策科学総合研究事業 (臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業))

分担研究報告書

評価システムの改修

研究代表者 長島 正(大阪大学教授)

研究分担者 田口則宏(鹿児島大学教授)

木内貴弘 (東京大学教授)

秋葉奈美 (新潟大学助教)

野﨑剛徳 (大阪大学准教授)

研究要旨

初年度にはe-logbookの個別症例データをDEBUT2に取り込めるよう、両システム間のデータ 交換規約を作成するとともに、e-logbook側ではデータ送信インターフェースソフトウェアを、D EBUT側では症例データ受信インターフェイスソフトウエアの開発を行った。今年度は、症例デ ータを取り込んだDEBUT側で、それを研修歯科医あるいは指導歯科医が確認するための画面構 成を検討し、必要なソフトウェアの開発を行った。本研究の成果により、DEBUTに取り込まれ たe-logbookの症例データを到達目標を評価するための参考として活用することがより簡便とな り、客観性と信頼性をもった評価を行うための環境を整えることができた。

A. 研究目的

厚生労働省が求める歯科医師臨床研修プログラム には、研修目標とともに、研修修了のために必要な 経験症例数の記載が求められている。しかし、プロ グラム上に記載された症例数は、そのカウント方法 が必ずしも研修歯科医の実経験症例数と一致してお らず、指導歯科医の裁量によって決定することがで きる。一方で、指導歯科医が症例数を決定する際に その根拠となる実経験症例数を提示できることは、 客観性および信頼性の高い評価を行うために必須の 機能であると思われる。

本研究の初年度では、この実経験症例数を評価シ ステムに取り込むためのインタフェースを設計し、 そのために必要なソフトウェアの開発を行った。今 年度は取り込まれた症例数を表示し、研修歯科医の 自己評価あるいは指導歯科医の評価を支援するイン ターフェースの設計および開発を行うことを目的と して研究を行った。

B. 研究方法

e-logbookから取り込んだ個別症例データはDEB UT2で研修目標ごとに集計し、表示する方式を採用 した。具体的には、DEBUT2がすでに保有してい る到達目標のC領域に対する評価画面を改修し、目 標ごとに自験症例数、介助症例数、見学症例数を表 示した。DEBUT2はWEBアプリケーションとして 開発されており、操作はWEBブラウザを介して行 う。したがって、パソコン、タブレット、スマート フォンなど様々な端末にて操作できるようレスポン シブデザインが採用されている。

C. 結果

DEBUT2では、厚生労働省が定める臨床研修到 達目標のC領域に対する評価は評価表Iとしてまと められている。IDおよびPWを用いてDEBUT2にロ グイン後、評価表Iを選択すると、図に示したよう な画面が表示される。この画面はC領域の、(1)基本 的診察・検査・診断・治療計画のうち、「①患者の 心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面 接を実施する。」という到達目標に対する評価を入 力することができる。この到達目標には、e-logboo kでの評価項目のうち、医療面接の病歴聴取および 診療録記載が紐づけられており、それに対する症例 数の集計結果が、自験、介助、見学に分けて表示さ れる。指導歯科医はこの症例数を参考として、その 上部に表示されている「認定症例数」のボックスに 認定できる症例数を入力し、さらに上部の担当指導 歯科医評価欄にこの段階での到達レベルを、指導歯 科医の介助の下で実施可能、指導歯科医の監視の下 で実施可能、単独で実施可能、後進の指導ができ



図 DEBUT での評価入力画面の例(スマートフォンでの表示例)

評価表 I (到達目標の C 領域に対する評価を行うページ)において、目標ごとに経験症例として、当該目標と 紐づけられた研修実績 (e-logbook に入力され、指導歯科医が承認した症例数)が一覧表として表示される。指導歯科医はこの数字を参考に認定症例数を決定・入力するとともに、その上段に評価結果を入力する。

る、の4段階で評価できる。「観察機会なし」は、 当該期間にこの目標を経験する機会がなかった場合 に選択する。

D. 考察

これまでのDEBUTでは、到達目標の研修歯科医と指導医による評価、研修歯科医による指導歯科医評価、施設評価、研修プログラム評価を行う機能を有していたが、症例データのを参照する機能を有しておらず、別途Excel等で管理した症例データを参照しながら評価を行う必要があった。今回、e-logbookはにより登録された症例データを取り込み、それを評価画面に集計・表示する機能を搭載したことにより、到達目標を評価するための参考として症例

データを活用することが可能となり、より正確に評価が行えるようになった。このことは、研修歯科医に対して正しく評価できるだけでなく、多くの国費を費やして実施されている臨床研修制度において、国民に対する説明責任果たす上で大きな意味を持っており、その意義は大きいと考えられる。

E. 結論

DEBUTに取り込んだ症例データを評価画面に集計・表示するためのソフトウェアを開発した。本機能の追加により、DEBUTでの評価入力時にe-logbookで入力した症例データを参照することが可能となった。

F. 健康危険情報 該当なし

G. 研究発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 なし

研究成果の刊行に関する一覧表

本研究成果について、現時点では書籍、雑誌とも未刊行です。

書籍

| 著者氏名 | 論文タイトル名 | 書籍全体の 編集者名 | 書 | 籍 | 名 | 出版社名 | 出版地 | 出版年 | ページ |
|------|---------|---------------|---|---|---|------|-----|-----|-----|
| | | | | | | | | | |

雑誌

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|-------|---------|------|----|-----|-----|
| | | | | | |

)

機関名 国立大学法人大阪大学

所属研究機関長 職 名 歯学部長

| IT. H | 교 ++ | T田 4二 | |
|-------|-----------------|-------|--|
| 氏 名 | 四和 | 理行 | |

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理につい ては以下のとおりです。

| | , , | | | | | |
|----------------------|--|------|-----------|---------|-----------------------|---------------------|
| 1. 研究事業名 | 政策科学総合研究事業 | (臨床 | 研究等 IC | T 基盤構築 | · 人工知能実装研究事業) | |
| 2. 研究課題名 | 歯学教育及び歯科医師臨 | 床研修 | をにおいて | 【一貫して和 | 川用できるオンライン評価 | システムの |
| | 開発に関する研究 | (22) | AC1001 |) | | |
| 3. 研究者名 | (所属部署・職名) 歯管 | 学部附 | 属歯学教 | 育開発セン | ター・教授 | |
| | (氏名・フリガナ) 長! | 島 正 | - ・ナガシ | マータダシ | · | _ |
| 4. 倫理審査の料 | 犬況 | | | | | |
| | | 該当付 | 性の有無 | 左 | 記で該当がある場合のみ記入 | (%1) |
| | | 有 | 無 | 審査済み | 審査した機関 | 未審査 (※2) |
| 人を対象とする生命 指針 (※3) | 科学・医学系研究に関する倫理 | | • | | | |
| 遺伝子治療等臨床研 | | | | | | |
| | る実施機関における動物実験 | | • | | | |
| | T理指針があれば記入すること) | | - | | | |
| | 当該研究を実施するに当たり遵守す~ 全部の審査が完了していない場合は | | | | 審査が済んでいる場合は、「審査済 | <u> </u> 「み」にチェッ |
| その他(特記事項 | 頁) | | | | | |
| (※3) 廃止前の「疫气 | は、その理由を記載すること。 学研究に関する倫理指針」、「臨床研究 関する倫理指針」に準拠する場合は | | | | ム・遺伝子解析研究に関する倫理指 | 針」、「人を対 |
| 5. 厚生労働分野 | 予の研究活動における不正行 | 為への | の対応につ | ついて | | |
| 研究倫理教育の受講 | 状況 | Ä | 受講 ■ | 未受講 🗆 | | |
| 6. 利益相反の管 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | • | | | | |
| 当研究機関における | COIの管理に関する規定の策 | 定 | 有 ■ 無 | □(無の場合は | その理由: |) |
| 当研究機関における | COI委員会設置の有無 | 7 | 有 ■ 無 | □(無の場合は | 委託先機関: |) |

有 ■ 無 □(無の場合はその理由:

有 □ 無 ■ (有の場合はその内容:

当研究に係るCOIについての指導・管理の有無 (留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

当研究に係るCOIについての報告・審査の有無

厚生労働大臣 (国立医薬品食品衛生研究所長) 殿 (国立保健医療科学院長)

機関名 国立大学法人鹿児島大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 _ 佐野 輝 _____

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 1. 研究事業名
 政策科学総合研究事業 (臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業)

 2. 研究課題名
 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究 (22AC1001)

 3. 研究者名
 (所属部署・職名) 医歯学域歯学系・教授 (氏名・フリガナ) 田口 則宏・タグチ ノリヒロ
- 4. 倫理審査の状況

| | 該当性の有無 | | 左記で該当がある場合のみ記入(※1) | | | |
|--|--------|---|--------------------|--------|------------|--|
| | 有 | 無 | 審査済み | 審査した機関 | 未審査 (※2) | |
| 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理 | | | | | | |
| 指針 (※3) | | | | | | |
| 遺伝子治療等臨床研究に関する指針 | . 🗆 | | | | , <u>П</u> | |
| 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験 等の実施に関する基本指針 | | | | | | |
| その他、該当する倫理指針があれば記入すること | 1 , 2 | | | | | |
| (指針の名称:) | | | | | | |

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

| 研究倫理教育の受講状況 | 受講 ■ | 未受講 🗆 | | e e | |
|-------------|------|-------|--|-----|--|
| | | | | | |

6. 利益相反の管理

| 当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定 | 有■ | 無 □(無の場合はその理由: |) . |
|--------------------------|-----|-----------------|-----|
| 当研究機関におけるC○Ⅰ委員会設置の有無 | 有■ | 無 □(無の場合は委託先機関: |) |
| 当研究に係るCOIについての報告・審査の有無 | 有■ | 無 □(無の場合はその理由: |) |
| 当研究に係るCOIについての指導・管理の有無 | 有 🗆 | 無 ■ (有の場合はその内容: |) |

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

厚生労働大臣 (国立医薬品食品衛生研究所長) 殿 (国立保健医療科学院長)

機関名 北海道医療大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏名 浅香 正博

次の職員の平成5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 4. 倫理審査の状況

| | 該当性の有無 | | 左記で該当がある場合のみ記入 (※1) | | | |
|--|--------|-----------|---------------------|--------|----------|--|
| | 有 | 無 | 審査済み | 審査した機関 | 未審査 (※2) | |
| 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理 | | 無☑ | | | | |
| 指針 (※3) | | ₩∠ | | | | |
| 遺伝子治療等臨床研究に関する指針 | | 無☑ | | | | |
| 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験 等の実施に関する基本指針 | | 無☑ | | | | |
| その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:) | | 無☑ | | | | |

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

| 研究倫理教育の受講状況 | 受講 ☑ | 未受講 🗆 | |
|-------------|------|-------|--|
|-------------|------|-------|--|

6. 利益相反の管理

| 当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定 | 有☑ | 無 □(無の場合はその理由: |) |
|--------------------------|-----|-----------------|---|
| 当研究機関におけるCOI委員会設置の有無 | 有☑ | 無 □(無の場合は委託先機関: |) |
| 当研究に係るCOIについての報告・審査の有無 | 有☑ | 無 □(無の場合はその理由: |) |
| 当研究に係るCOIについての指導・管理の有無 | 有 🗆 | 無 ☑ (有の場合はその内容: |) |

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人東京医科歯科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏名 _田中雄二郎

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理につい ては以下のとおりです。

- 1. 研究事業名 政策科学総合研究事業 (臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業) 2. 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開 発に関する研究 大学院医歯学総合研究科__・ 教授 3. 研究者名 (所属部署・職名) 新田 浩 ・ ニッタ ヒロシ (氏名・フリガナ)
- 4. 倫理審査の状況

| | 該当性 | 該当性の有無 | | 左記で該当がある場合のみ記入 (※1) | | | |
|--|-----|-----------|------|---------------------|----------|--|--|
| | 有 | 無 | 審査済み | 審査した機関 | 未審査 (※2) | | |
| 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※ 3) | | Ø | | | | | |
| 遺伝子治療等臨床研究に関する指針 | | \square | | | | | |
| 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施 に関する基本指針 | | Ø | | | | | |
| その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:) | | Ø | | | | | |

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェッ クレー部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象 とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

| 研究倫理教育の受講状況 | 5 | 受講 ☑ | 未受講 🗆 | 4 |
|-------------|---|------|-------|---|
| | | | | |

6. 利益相反の管理

| 当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定 | 有☑ | 無 □ (無の場合はその理由: |) |
|--------------------------|-----|------------------|-----|
| 当研究機関におけるCOI委員会設置の有無 | 有☑ | 無 □ (無の場合は委託先機関: |) |
| 当研究に係るCOIについての報告・審査の有無 | 有☑ | 無 □ (無の場合はその理由: |) |
| 当研究に係るCOIについての指導・管理の有無 | 有 🗆 | 無 ☑ (有の場合はその内容: | .) |

該当する□にチェックを入れること。 (留意事項)

厚生労働大臣 (国立医薬品食品衛生研究所長) 殿 (国立保健医療科学院長)

機関名 日本歯科大学

所属研究機関長 職 名 学 長

氏 名 __藤井 一維____

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

| には以下のとわりです。 | | | | | | | | |
|--|----------|------------|----------------------------|----------------|-------------------|--|--|--|
| 1. 研究事業名 政策科学総合研究事業 (臨 | 床研究等] | CT 基盤構築 | 桑・人工知能実施 | 装研究事業) | | | | |
| 2. 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床 | 研修におり | ヽて一貫して | て利用できるオン | ンライン評価シ | ステムの | | | |
| 開発に関する研究 (: | 22AC1001 | _) | | | | | | |
| 3. 研究者名 (<u>所属部署・職名) 日</u> | 本歯科大学 | 学附属病院_ | 総合診療科· | 准教授 | | | | |
| (氏名・フリガナ) 大 | 選 銀子 | (オオサワ | ギンコ) | | | | | |
| 4. 倫理審査の状況 | 14 以 1 | (~ ~) > | | | | | | |
| | 該当性の有 | 無 | 左記で該当がお | ある場合のみ記入(| (※1) | | | |
| | 有 無 | 審査済 | な 審査した | _機関 | 未審査 (※2) | | | |
| 人を対象とする生命科学·医学系研究に関する倫理 指針 (※3) | | | , | | | | | |
| 遺伝子治療等臨床研究に関する指針 | | | | | | | | |
| 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験 等の実施に関する基本指針 | | | | | | | | |
| その他、該当する倫理指針があれば記入すること | | | | | | | | |
| (指針の名称:) (※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべ | き倫理指針に | 関する倫理委 | 員会の審査が済んで [†] | いる場合は、「審査済 | み にチェッ | | | |
| クレー部若しくは全部の審査が完了していない場合は、 | | | | | | | | |
| その他(特記事項) | | | | | | | | |
| (※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、 | | | ゲノム・遺伝子解析 | 研究に関する倫理指 | 針」、「人を対 | | | |
| 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行 | 為への対応 | ぶについて | | | | | | |
| 研究倫理教育の受講状況 | 受講↓ | 受講 ☑ 未受講 □ | | | | | | |
| 6. 利益相反の管理 | | | | | | | | |
| 当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定 | 言 有 ☑ | 無 □(無の場 | 場合はその理由: | |) | | | |
| 当研究機関におけるCOI委員会設置の有無 | 有☑ | 無 □(無の場 | 場合は委託先機関: | |) | | | |
| 当研究に係るCOIについての報告・審査の有無 | 有☑ | 無 □ (無の場 | 場合はその理由: | |) | | | |
| 当研究に係るCOIについての指道・管理の有無 | 有口 | 無 🔽 (右の | 堪 会けその内容: | |) | | | |

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

厚生労働大臣 (国立医薬品食品衛生研究所長) (国立保健医療科学院長)

> 国立大学法人 新潟大学 機関名

所属研究機関長 職名 学長

> 氏 名 牛木 辰男

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理につい ては以下のとおりです。

- 1. 研究事業名 政策科学総合研究事業 (臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業) 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの 2. 研究課題名 (22AC1001 開発に関する研究 医歯学総合病院・助教 3. 研究者名 (所属部署・職名) 秋葉 奈美・アキバ ナミ (氏名・フリガナ)
- 4. 倫理審査の状況

| | 該当性の有無 | | 左記で該当がある場合のみ記入 (※1) | | | |
|--|--------|---|---------------------|--------|----------|--|
| | 有 | 無 | 審査済み | 審査した機関 | 未審査 (※2) | |
| 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理 指針 (※3) | | Ø | | | | |
| 遺伝子治療等臨床研究に関する指針 | | Ø | | | | |
| 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験 等の実施に関する基本指針 | | Ø | | | | |
| その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:) | | | | | | |

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェッ クレー部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対 象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

| 研究倫理教育の受講状況 | 受講 ☑ | 未受講 🗆 | | |
|-------------|------|-------|--|--|
|-------------|------|-------|--|--|

6. 利益相反の管理

| 当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定 | 有☑ | 無 □(無の場合はその理由: |) |
|--------------------------|----|-----------------|---|
| 当研究機関におけるCOI委員会設置の有無 | 有☑ | 無 □(無の場合は委託先機関: |) |
| 当研究に係るCOIについての報告・審査の有無 | 有☑ | 無 □(無の場合はその理由: |) |
| 当研究に係るCOIについての指導・管理の有無 | 有口 | 無 ☑ (有の場合はその内容: |) |

(留意事項) 該当する□にチェックを入れること。

- ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 (国立医薬品食品衛生研究所長) 殿 (国立保健医療科学院長)

機関名 国立大学法人九州大学

所属研究機関長 職 名 総長

氏名 石橋 達朗

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

| CVC | 以下のとわり |) (9) |
|-----|--------|---|
| 1. | 研究事業名 | 政策科学総合研究事業(臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業) |
| 2. | 研究課題名 | 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの |
| | | 開発に関する研究 (22AC1001) |
| 3. | 研究者名 | (所属部署・職名) 歯学研究院・教授 |
| | | (氏名・フリガナ) 和田 尚久 (ワダ ナオヒサ) |

4. 倫理審査の状況

| 2 · IIII) · T PI - T · V · V · V | | | | | | | |
|--|--------|---|---------------------|--------|----------|--|--|
| | 該当性の有無 | | 左記で該当がある場合のみ記入 (※1) | | | | |
| | 有 | 無 | 審査済み | 審査した機関 | 未審査 (※2) | | |
| 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理 | | | | | | | |
| 指針 (※3) | | | | | | | |
| 遺伝子治療等臨床研究に関する指針 | | | | | | | |
| 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験 等の実施に関する基本指針 | | | | | | | |
| その他、該当する倫理指針があれば記入すること | | | | | | | |
| (指針の名称: | | | | 1. | | | |

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。 その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

| 研究倫理教育の受講状況 | 講 ■ 未受講 □ |
|-------------|-----------|
|-------------|-----------|

6. 利益相反の管理

| 当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定 | 有 ■ 無 □(無の場合はその理由: |) |
|--------------------------|---------------------|-------|
| 当研究機関におけるCOI委員会設置の有無 | 有 ■ 無 □(無の場合は委託先機関: |) |
| 当研究に係るCOIについての報告・審査の有無 | 有 ■ 無 □(無の場合はその理由: | , () |
| 当研究に係るCOIについての指導・管理の有無 | 有 □ 無 ■ (有の場合はその内容: |) |

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

機関名 国立大学法人東京大学

所属研究機関長 職 名 学長

| II. | Ø | 藤井 | 雅士 | |
|-----|----|------|------|--|
| | 40 | が変えて | ルサノへ | |

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 1. 研究事業名 政策科学総合研究事業 (臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業)
- 2. 研究課題名 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発

に関する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部附属病院・教授

(氏名・フリガナ) 木内 貴弘・キウチ タカヒロ

4. 倫理審査の状況

| | SHALL A HOTE | 左記で該当がある場合のみ記入 (※1) | | | | |
|--|-----------------|---------------------|--------|--------|--|--|
| | 該当性の有無 有 無 | 審査済み | 審査した機関 | 未審査 (※ | | |
| 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫 理指針 (※3) | | | | | | |
| 遺伝子治療等臨床研究に関する指針 | | | | | | |
| 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験 等の実施に関する基本指針 | | | | | | |
| その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:) | , | | | | | |

^(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

| 研究倫理教育の受講状況 | 受講■ | 未受講 🗆 | * . × | |
|-------------|-----|-------|-------|--|
| | | | | |

6. 利益相反の管理

| 当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定 | 有■ | 無 □(無の場合はその理由: | | |
|--------------------------|----|-----------------|-----|---|
| 当研究機関におけるCOI委員会設置の有無 | 有■ | 無 □(無の場合は委託先機関: | |) |
| 当研究に係るCOIについての報告・審査の有無 | 有■ | 無 □(無の場合はその理由: | . 1 | , |
| 当研究に係るCOIについての指導・管理の有無 | 有口 | 無 ■ (有の場合はその内容: | | · · · · · · · · · · · ·) |

(留意事項) ・該当する口にチェックを入れること。

機関名 国立大学法人大阪大学

所属研究機関長 職 名 歯学部附属病院長

| 氏 | 夂 | 山城 | []各 | |
|---------|------------|----|-----|--|
| \perp | ∕ □ | ШЖ | 1′生 | |

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

| ては以下のとおり |)です。 | | | | | | |
|-----------|--------------------------|------------|----------|--------------------------------|---------|--|--|
| 1. 研究事業名 | 政策科学総合研究事業 | (臨床研究等 IC | T 基盤構築 | ・人工知能実装研究事業) | | | |
| 2.研究課題名 | 歯学教育及び歯科医師臨 | 床研修において | 一貫して利 | 利用できるオンライン評価 | システムの | | |
| | 開発に関する研究 | (22AC1001 |) | | | | |
| 3. 研究者名 | (所属部署・職名) 口服 | 空総合診療部・ | <u> </u> | | | | |
| | (氏名・フリガナ) 野﨑 剛徳・ノザキ タケノリ | | | | | | |
| 4. 倫理審査の | 伏況 | | | | | | |
| | | 該当性の有無 | 左 | E記で該当がある場合のみ記入 | (%1) | | |
| | | 有 無 | 審査済み | 審査した機関 | 未審査 (※2 | | |
| した計争しする出名 | *利労・医学系研究に関する倫理 | | | | | | |

| | 該当性の有無 | | 左記で該当がある場合のみ記入 (※1) | | |
|--|--------|---|---------------------|--------|----------|
| | 有 | 無 | 審査済み | 審査した機関 | 未審査 (※2) |
| 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理 | | | | | |
| 指針 (※3) | | - | | | |
| 遺伝子治療等臨床研究に関する指針 | | | | | |
| 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験 等の実施に関する基本指針 | | | | | |
| その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:) | | | | | |

^(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

| 研究倫理教育の受講状況 | 受講 ■ | 未受講 🗆 |
|-------------|------|-------|
| | | |

6. 利益相反の管理

| 当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定 | 有 ■ 無 □(無の場合はその理由: |) |
|--------------------------|---------------------|---|
| 当研究機関におけるCOI委員会設置の有無 | 有 ■ 無 □(無の場合は委託先機関: |) |
| 当研究に係るCOIについての報告・審査の有無 | 有 ■ 無 □(無の場合はその理由: |) |
| 当研究に係るCOIについての指導・管理の有無 | 有 □ 無 ■ (有の場合はその内容: |) |

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

[・]分担研究者の所属する機関の長も作成すること。